

協働事業報告書

事業の名称	ふれあいネットワークフェスティバル in 西宮		
団体名・氏名	西宮ふれあいネットワーク	関係課(G)名	障害福祉課
事業費	422,161 円	市の負担額	200,000 円

事業の目的及び内容	(目的) 障害者が就労する作業所、施設の存在や製品を広く市民に広報すること ・作業所間のネットワークを強化し、連携の可能性を探ること ・作業所等の売り上げを向上させること	
	(内容) 福祉作業所の生産物を中心に一般市民向け販売を行うバザーイベント	
	(市民活動団体等の役割) 新商品開発や現有商品の質向上機会やノウハウの提供 商品や存在そのものの広報機会の提供 情報交換や共同受注の研究など連携機会の提供	(市の役割) 一般市民に対する広報機会の提供 就労障害者所得向上への貢献

	市民活動団体等	市※
協働事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内 19 の作業所が出展した ・一般市民約 3000 人が参加した ・出店に合わせて商品開発を試みた ・統一パネルによる施設紹介ができた ・利用者、スタッフの販売意識が高まった ・作業所同士の交流意識が向上した 	市内の作業所が多数出展したことにより、作業所間で交流することができた。また、一般市民に向けて作業所の商品等をアピールすることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる商品開発 ・商品の品質向上 ・動員力の向上 	市民に作業所の製品をPRするためには、もっと参加者を増やさなくてはならない。広報の方法について検討する必要がある。

注1 事業実施が確認できる資料（写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等）を添付してください。

注2 事業の成果・効果欄には来場者数、実施日数等の数値に表れる実績の記載をお願いします。

注3 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

自己評価書

(障害福祉課)

事業の名称	ふれあいネットワークフェスティバル in 西宮	
団体名・氏名 関係課(G)	障害福祉課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	<p>作業所の製品を広く一般市民に知ってもらう機会は数少なく、当フェスティバルは貴重なPRの場となっている。</p> <p>また、参加した21団体については、お互いの事業内容の理解ができ、交流することにより連帯意識が高まったと思われる。</p>	

自己評価書

(西宮ふれあいネットワーク)

事業の名称	ふれあいネットワークフェスティバル in 西宮	
団体名・氏名 関係課(G)	西宮ふれあいネットワーク 障害福祉課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入) 来訪者数がのびなかったこと 新商品の開発数が当初予定より少なかったこと
	2. 概ね期待どおり ③. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	<p>評価すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉作業所の定例行事として定着してきたこと ・各作業所のスタッフ、利用者が販売を通して一般市民とふれあえたこと <p>反省すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発に関してもっと主導的にかかわるべきであった ・動員についてもっと研究すべきであった 	